

〈東京都立大島海洋国際高等学校 TEL:04992-4-0385 FAX:04992-4-1764〉

メールアドレス：S8000531@section.metro.tokyo.jpHP アドレス：<http://www.osima-kaiyokokusai-h.metro.tokyo.jp/index.html>

東京大学 ROV特別講義

1月15日、東京大学生産技術研究所海洋探査システム連携研究センター准教授の巻 俊宏博士によるROVに関する講義と実習が本校で行われました。ROVとは Remotely operated vehicle の略で遠隔操作により動く水中探査機のことです。今回は初めに教室でAUV (Autonomous Underwater Vehicle, 自律型海中ロボット)をはじめとする海中探査機の研究についての講義を受け、その後、プールで実際に動かす体験をさせてもらいました。プールサイドでの実習は残念ながら、雨が強くなり、雷も鳴りだしたので体験は数名の人しか出来ませんでした。ROVの捜査は前進・後進・方向転換・上下移動等複雑です。その動きを操作するのはTVゲームのコントローラーをそのまま利用したものでした。生徒は呑み込みが早く、操作にすぐ慣れていました。翌日、泉津港での海中探査の現場を3名が見学し、実際の海中操作を体験しました。

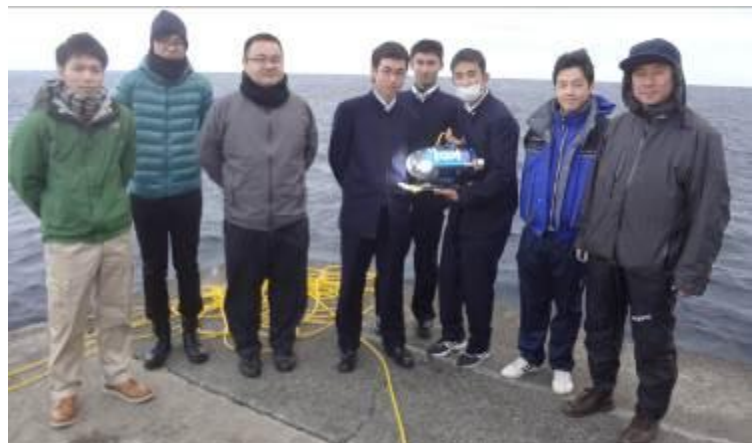


【生徒感想文】 2年B組 安中 溪太

今回はとても貴重な体験ができて良かったです。人生で初めてROVを操縦しました。プールの水は汚く、前も後ろもわからない状態で壁にあてないよう大変でした。天気が悪く全員体験できなかったのも、後日また出来たらよいと思います。

一方、座学の時間には、新しい発見ができてうれしかったです。例えば、海に関する研究をしているのは海洋大とかの学校しかやっていないと思っていたのですが、一般の大学でも海洋について研究していると知って驚きました。また、ROVについても難しいとされていることを実現させるように日々研究していて、成果も出ていると知り、もの造りも素晴らしいと思いました。

自分は今日、他の高校では体験できないことを体験しました。乗船はできていないけど今後も今回のようなイベントがあると嬉しいです。ありがとうございました。



学習発表会

1月16日(金)、午前の三送会に引き続き、午後学習発表会が行われました。3年生の高野さんと松本さんによる「沖ノ鳥島観測航海」について、次に、2年生国際系航海学習に関して「釜山の見学地」を山口さんと曾田さん、「国際交流」を石川君と竹内君と佐々木君が発表しました。最後に、「オーストラリアについて」留学生のジャスミンさんが発表しました。

各自パワーポイントの資料を作成し、わかりやすく作成していました。「オーストラリアについて」は、日本語で一生懸命説明してくれました。実家の庭の広さに皆びっくりしていました。



沖ノ鳥島フォーラム

1月18日(日)有楽町の国際フォーラムにておこなわれた第9回沖ノ鳥島フォーラムに3年生高木君、福士君、高野さん、松本さんの4名が参加し、本校の観測航海について発表してきました。沖ノ鳥島について日本国民が認識を深めているという証拠としてこのフォーラムは重要な意味を持ちます。そして



来年で10年。何事も10年継続するということは意味のあることの証明だそうです。発表後に、沖ノ鳥島保護のために1億円寄付された来賓の坂井様から激励を頂き、感激しました。フォーラムに参加された方のアンケートの一部を掲載させていただきます。

- ・大島国際海洋高校の発表が印象的だった。沖ノ鳥島での調査は大変だが、継続的に取り組んで、引き続きフォーラムで発表して欲しい。
- ・沖ノ鳥島で活動している時の動画を見てみたい。
- ・海洋観測の発表は、専門的な言葉が多く、難しいと思う反面、スライドや発表でカバーして、よくできてたと思います。
- ・学生が元気で調査する活動はよいと思った。長く続けてほしい。
- ・学生の説明がとても元気でよかった
- ・学生は取組姿勢も良く心が感じられました。

留学生 ジャスミン帰国

8月にオーストラリアから留学していたジャスミンさんが2月6日に離島しました。1年生の女子を中心に見送りました。

帰国後、ジャスミンさんからメールを送ってもらいました。半年間でこれだけの日本語上達に敬意を表し、原文のまま掲載します。



ここにちわみなさん。

今私はオオストラリアにかえりました。でも、私はあなたたちをいつもかんがえています。

私はこの学校にきた時にととてもたのしかった。私はこの学校の生徒と先生かるたくさんおしえてくれた。

ありがとうございました。

みんなは私の日本語の先生で私のチームと私の友だちです。私はまだ日本語ことができません。でも、わたしはととてもうれしいです。

ありがとうのことばでわぜんぜんたりません。

私は大島でたくさんおもいでをつくりました。私がさしよ大島海洋国際高校にきた日に私はとてもはずかしかった。でも、あなたたちはすごくやさしいでした。ありがとうございました。

ぶんかさいのじゅんぴをおぼえています。三年生の人いしょにピクニクと海洋のじゅぎよのダビングと日本語のぶんかと朝トランプをしたのをおぼえています。

友だちいしょにひるご飯を食べて（FIRE!）音楽をえんそうしてくれた。とても楽しかった。ありがとうございました。私はたくさんじゅぎよが分かりませんでした。でも、いつも私の先生は私におしえて助けてくれました。いつもありがとうございました。バレーボール部とテニス部かつもわすれません。毎日私はかれらといしょにれんしゅをととても楽しかった。

みなさんは私にとてすごくたいせつです。この学校はすてきな学校です。生徒と先生はととてもやさしくておもしろいです。私はあなたたちが大好きです。

私はオオストラリアがいます。でも、今、日本は私の国です。大島は私のうちです。この学校私の学校です。

今、私は私のオオストラリアの学校に行きます。楽しいです。でも、私は私日本の友だちをさみしです。私はみなさんが私にしでくれた。すべてのことにかんじゃしています。

私は海洋国際高校に来てひをずうとわすれません。

いつもありがとうございます。

またね!





日本文化の授業

1年生は土曜日に日本文化の授業があります。後半の6回は太鼓か踊りのどちらかを選択します。太鼓は大島の御神火太鼓を保存会会長の菊池さんから教わりました。踊りは波浮港の大漁節を波浮港祭唄昔唄保存会の宮川さん、浜野さん、山田さん、下島さんから教わりました。2月7日の最終回は踊りと太鼓の成果をそれぞれに披露しました。

留学生が先生

2月7日(土)、公益財団法人国際理解支援協会より、日本に留学している学生さんに来校していただき、本国のことを教えていただきました。キルギスのタクィルバシェワ ケレザ さん(国士舘大学)とセルビアのヨカ サーニャ さん(東京外国語大学)のお二人です。ありがとうございました。



バレーボール部試合結果

バレーボール部は2月8日(日)、東京都公立校大会に参加しました。4チーム、4チームのリーグに分かれて8校で戦ってきました。3チームが支部決勝に進めるところ、惜しくも出場権を逃しました。

結果	リーグ	○海国	2	―	大崎	0
		●海国	0	―	豊島	2
		○海国	2	―	六本木	0
代表決定戦		●海国	0	―	三田	2

→ リーグ2位で代表決定戦へ

平成26年度東京都教育委員会表彰

2月14日(土)東京都庁において、教育委員会の生徒等の表彰式がありました。学校として一昨年の台風26号による北部の土砂災害における災害復旧活動と、今年度仮設住宅に花のプランターを届ける活動を実施したことによって表彰されました。また、生物部の高野碧さんがティラピアの継代飼育をテーマに研究し、帰省期間以外は毎日欠かさず世話をし、魚が生育しやすい環境について研究し繁殖に成功し個体数を増加させたことが他の生徒の模範となるとして表彰されました。



留学生支援の会

大島の国際交流に関して支援する団体が、募金を集めています。本校の留学生へも支援していただいています。保護者の方々や卒業生には協力依頼の文章を送らせていただきました。一口3000円です。郵便振替ができます。御寄附いただける方は、本校の平塚・宮内までお問い合わせください。